
東方女神録

七夜士郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方女神録

【Nコード】

N0359Z

【作者名】

七夜士郎

【あらすじ】

今回初めて小説を投稿します。

現在フォレストページで書いている小説です。

基本的に百合ハーレムを目指します。

また、小生は小説作成初心者なため、練習がてらに書いています。そのため、おかしいところが多々あると思いますがよろしく願います。

ちなみにこの小説は基本的には一話完結型の短編集のようなものです。

みんなの感情（前書き）

いちおう感情を書いたほうが分かりやすいと思うので書きます。

みんなの感情

霊夢 月姫

昔から修行等をしてくれて育ててくれた母親のような人物であり、愛すべき人物。

月姫の前ではずっとデレている。

魔理沙 月姫

昔からの知り合いで、霊夢と同じく母親のような人物であり、愛すべき人物。

月姫 霊夢

娘のように昔から接してきたため、本当の娘のように思っている。

月姫 魔理沙

ほぼ霊夢と同じ。

新しいキャラが出るごとに更新します。

みんなの感情（後書き）

基本みんなに愛される。

主人公設定（前書き）

とりあえず設定

主人公設定

主人公の設定

名前：月姫 葵

種族：女神

容姿：腰まで届く長く綺麗な銀髪で、見とれるほどの美しい顔立ち。体つきは細身で胸は大きめ。上下共に純白のドレスで身を包んでいる。

人物：紫とは旧知の仲の月の女神。他にも昔から関わりのある人物が多い。

聖母のように穏やかで、ちょっと天然が入っている。そんな性格のためか、愛されやすく、みんなからは「お母様」や「お姉様」と呼ばれたりする。

ちなみに幻想郷において指折りの実力者である。

また、現在はいろいろあつて博霊神社の神様として居候している。

能力：天変地異を操る程度の能力

異名：月に愛された女神

設定等は変更する場合があります

主人公設定（後書き）

こんな感じ

のんびりゆったり（前書き）

とりあえず最初の小説。
お相手は霊夢と魔理沙。

のんびりゆったり

博霊神社

月姫：今日も平和ね〜

月姫は現在博霊神社の縁側にのんびりとしていた

霊夢：月姫さん。お茶です。

その後ろから腋巫女こと霊夢がお茶を持ってきた

月姫：あら、ありがとう霊夢ちゃん。

ズズッ

・
・
・
・
・

霊夢：平和ですね。

月姫：ふふっ、そうですね。

まるで親子のようなふたりである

???：おゝい・・・

そんなところに白黒の物体が近づいてくる

月姫：あら？あれは魔理沙ちゃんじゃないかしら？

霊夢：そうですね（せっかく月姫さんと二人で過ごしてたのに・・・

）

霊夢は二人の時間を邪魔されて不機嫌そうだ

魔理沙：おはようなんだぜ！

元気よく挨拶する魔理沙

月姫：ふふっ、おはよう。今日も魔理沙ちゃんは元気ね。

魔理沙：私はいつでも元気なのが取り柄なんだぜ！

月姫：いい取り柄ね・・・

そう言いナデナデと魔理沙を撫でる月姫

魔理沙：（嫌じゃないけど、恥ずかしいぜ・・・）

魔理沙も満更ではなさそうだ

霊夢：つ、月姫さん！わ、私も！

霊夢は嫉妬し、自分もやってもらおうとする

月姫：ふふっ、甘えん坊ね・・・

ナデナデ

霊夢：（ああ・・・幸せ・・・）

今日も幻想郷は平和である

のんびりゆったり（後書き）

どうでしょうか？

どうぞ感想にて罵ってやってください。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0359z/>

東方女神録

2011年12月1日13時51分発行